

# 仙台市議会 (市政活動報告) 会派「蒼雲の会」

発行/会派「蒼雲の会」 加藤けんいち

## 【連絡先】

〒980-8671  
仙台市青葉区国分町3-7-1  
仙台市議会「蒼雲の会」  
TEL 022-214-8568

## 【事務所】

〒981-0952  
仙台市青葉区中山4-6-34  
会派「蒼雲の会」加藤けんいち事務所  
TEL/FAX 022-279-5255



元気  
アップ!  
仙台!!

仙台市議会議員 (青葉区)

# 加藤けんいち

令和3年1月号

<http://www.katoken-sendai.com>

## 新しい生活様式でコロナを乗り越えよう!

令和3年が始まりました。昨年は本来であれば東京オリンピック・パラリンピックが開かれ希望に満ちた明るい年になるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し大変な1年となりました。改めて感染により被害に遭われた方々に心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。仙台市においては予算を幾度も組み直し補正予算にて新型コロナウイルス感染症の防止対策等を講じてきておりますが、第2波・第3波に備え「緊急対策プラン」を策定いたしました。今後は社会経済活動と感染予防との両立を図りながら息の長い取組みが必要となりますので、引き続き市民のみなさま・事業者のみなさまのご理解を頂きながら共に取り組んでまいりたいと思います。令和3年度は、21世紀の半ばを展望した都市像を示す新たな仙台市基本計画がスタートいたします。コロナ禍の影響もあり向こう3年間の収支差の見通しは1162億円の赤字です。市役所本庁舎建設・音楽ホール整備・中心部震災メモリアル拠点整備など大規模な財政出動も予定されており、財政見通しとの整合を図りながら優先順位を考慮し各種施策を進めて行くことが必要と考えます。今後とも、皆さまとお約束させて頂いた取組みである「子どもたちの健やかな成長を守るための子育て支援」「教育環境の整備と健全育成の充実」「地域コミュニティによるまちづくり」「高齢者とその家族が快適に生活できるよう介護サービスの充実」等々、安心して暮らせる都市(まち)づくりに向けて引き続き誠心誠意取り組んでまいります。



## みなさまから頂いた声を反映しております



看板設置 (安全対策)  
通町1丁目歩道橋



道路整備 (安全対策)  
荒巻本沢地内



交差点段差解消  
川平1丁目地内



看板設置 (安全対策)  
昭和町歩道橋前

## 私の提案が採用されました ⇒ 小中学校の水道蛇口を「手回し式」から「レバー式」へ

みなさまもご承知のとおり学校の手洗い場などにある蛇口の多くは手回し式で直接触らなければならない、手洗い後に蛇口を触る際にウイルスが付着するのではないかと懸念する声も寄せられています。レバー式はひじなどで操作出来ることからリスクが軽減されます。準備が整った学校等から順次取替が進められております。





# 第1回臨時会(新型コロナ対策)にて「代表質疑」を行いました

新型コロナウイルス感染症に対応するための条例及び補正予算について令和2年度第1回臨時会を開催し、過去最大となる1384億円の補正予算を審議可決、臨時会では以下会派を代表し質疑いたしました。(1)地方自治体の財政状況の指標「健全化比率判断基準」へ影響について、東日本大震災時の比率までは至っておらず更なる財政出動が可能(2)休業に対する補償の要素が強い協力金と中小企業を下支えする緊急経済対策は全く別の視点での支援策が必要(3)固定費として負担の大きい家賃補助等仙台市独自の支援策(4)本市の「雇用調整助成金」の相談約6500件・助成金の申請48件に対し支給決定は僅か6件であり経費補助や申請に係るサポート等の支援策が急務(5)金融機関に対して一定期間支払いを猶予して頂くなど協力要請(6)国民一律10万円給付する特別定額給付金の早期受付(7)コミュニティセンターへの支援策(8)緊急小口資金貸付窓口拡充への協力依頼(9)PCR検査の対象者拡大(10)子どもたちの体力づくり(11)学校休校分の授業確保等々、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と中小企業を中心とした経済対策について市民のみなさんの不安解消に向け提言いたしました。



## 新型コロナウイルス感染症に関する補正予算【抜粋】

特別定額給付事業費	1065億円	国民の生活を支援するため <b>一律1人10万円を支給</b>
生活困窮者自立支援事業費	6195万円	休業等に伴う収入減により住居を失うおそれが生じている方に対する <b>住居確保給付金</b> (第3回定例会にて5億4146万円を追加)
子育て世帯臨時特別給付金の支給に要する経費	12億6268万円	児童手当を受給されている方 <b>児童1人あたり10000円を支給</b>
新生児臨時特別給付金	4億1302万円	特別定額給付金の支給基準日である4月27日の翌日以降に生まれた新生児に給付金を支給 <b>1人5万円を支給</b>
学校における感染症対策経費	1945万円	市立小学校・中学校・高校・特別支援学校・保育所・幼稚園の水道蛇口を <b>手回し式からレバー式へ交換</b>
教育情報ネットワーク運営等に要する経費	28億8990万円	公立学校 <b>1人1台端末の実現</b> を図るための経費
指定避難所備蓄物資等整備費	1386万円	<b>指定避難所</b> などに備蓄する <b>マスク</b> を購入
児童福祉施設等職員慰労金	6億9457万円	児童福祉施設等に勤務し利用者との接触を伴うサービスに携わる職員に対して慰労金を支給 <b>1人5万円を支給</b>
地域産業協力金	61億5000万円	宮城県の休業・時短営業の要請に応じた <b>事業者</b> に <b>40万円</b> (2施設以上80万円)を給付
地域産業支援金	6億円	協力金を受給しない減収事業者(前年同月比50%減)に <b>20万円を給付</b>
感染症防止対策奨励金	7億8480万円	各業種ごとのガイドラインに基づき感染症予防対策を講じた <b>事業者1店舗10万円</b> 、最大50万円
観光客誘致宣伝事業費の追加	2億3200万円	宿泊促進キャンペーンの拡充 秋保作並温泉宿泊キャンペーン <b>5000人泊を追加</b>
市民文化事業団補助金	2億5000万円	新型コロナの影響を受けている文化芸術公演の再開を支援するため民間の屋内施設使用料の一部を補助
奨学金返還支援制度の拡充	1890万円	社会福祉法人や医療法人等の人材確保を支援するため奨学金返還支援制度の対象を拡大
PCR検査補助等	4億2750万円	PCR検査に係る自己負担分の補助として



## 第3回定例会が開催されました

9月4日から10月7日にかけて仙台市議会第3回定例会が開催されました。

今回の定例会では条例案6件、人事案4件、その他案10件、令和元年度決算認定7件、令和2年度補正予算6件の計33件の審議が行われました。条例案では生田小学校赤石分校の廃止など仙台市学校条例の一部を改正する条例。その他案では青葉山公園（仮称）公園センター新築に係る工事請負契約の締結に関する件。補正予算では、新型コロナウイルス感染症に対応した経済対策「第5弾」をはじめ行政手続き等のデジタル化に向け情報化推進に要する経費463万円、各区文化センターのWi-Fi環境整備に要する経費1140万円、休業等に伴う収入減により住居を失うおそれに対応した住居確保給付金に5億4146万円、PCR検査に係る自己負担分の補助4億2750万円、ドライブスルー検査設置負担金1億円、中小企業の資金調達を支援するため資本制ローンの利子補給1億円、感染症防止対策奨励金7億8480万円、同特別支援金3300万円、教員用端末整備など学びのICT活用推進10億7127万円など一般会計で約28億円の補正予算について審議可決いたしました。なお、令和元年度決算について7件すべてを認定し閉会しました。



## 第3回定例会において「代表質疑」を行いました【主な質疑】

### コロナ禍を見据えた本市のエネルギー政策について

**問** 新型コロナが引き起こした電力需要の低迷により、発電量のコントロールが難しい再エネのリスクが浮上し今後のエネルギー政策の議論にも影響が生じてきている。本市の経済活動・市民生活を守り向上させて行くためには、エネルギー供給面での安全性・安定性・経済効率性および環境適合の同時達成が重要であり、特定の電源に頼ることなく多様な電源を組み合わせた「電源のベストミックス」によるバランスのとれたエネルギー政策の推進こそが現実的かつ本来求められる姿であると提言する。改めてコロナ禍も見据えた本市のエネルギー政策について市長の所見を伺う。

**答** 市長：再生可能エネルギーは、天候等の影響を受けるなどの安定供給という点では少々課題がございます。コロナ禍による需要減少の中、再生可能エネルギーを含む電力全体の需給調整などにつきましては、国レベルで議論がされることが重要と、このように認識しております。一方、電力というのは市民の皆様方にとって暮らしや産業を支える重要なインフラでございますことから、本市では、各地の蓄電設備等をICTの活用により集約制御し需給調整を行う、仮想発電所技術の実証にも取り組んでいるところでございます。もとより、東日本大震災でエネルギーの途絶を経験した本市といたしましては、特定のエネルギーに過度に依存しない、多様なエネルギーの特性を踏まえた、バランスの良い取り組みが重要であると認識しております。引き続き、防災環境都市・仙台の実現に向けて、環境への影響に配慮しつつ、災害リスクに備えたエネルギー自律型のまちづくりを進めてまいります。

### 音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の着手時期について

**問** 市役所本庁舎建設は基本計画が策定され令和10年の供用開始に向け動き出したが、今後、音楽ホールの整備や中心部震災メモリアル拠点など大規模な財政支出が予定されており、この度公表された財政見通しとの整合が必要と考える。音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点の着手時期について市長の所見を伺う。

**答** 市長：音楽ホールは、震災からの本市の復興においても大きな役割を果たした文化芸術の力を更に発展をさせ、継承させる拠点であります。また、中心部メモリアル拠点は、震災の経験と教訓の世代を超えた継承と、そして、国内外への発信の拠点となるものでございまして、いずれも本市のまちづくりにおける重要な役割を担う施設である、このように考えております。音楽ホールについては、現在、市内のホール体系の整理を進めているところでございまして、また、中心部メモリアル拠点につきましては、来月には外部有識者による検討委員会から、拠点に求められる役割や機能等に係る報告書が提出をされる予定でございまして、

今後、それぞれの施設の基本構想策定を進めるに際しましては、コロナ禍により厳しさを増す財政状況を十分に踏まえまして、事業手法、あるいはコスト削減や財源なども十分に精査をしながら、整備スケジュールなどにつきましても検討してまいりたいと存じます。

### ガス事業民営化における公募開始の判断について

**問** ガス事業民営化推進委員会の答申を受けて市長は公募を決定された。私はこれまで新型コロナウイルスの影響で公募を検討している事業者が、自らの収益確保が厳しい状況のもと譲渡価格によっては公募を断念することが懸念されること等、投資マインドがいっそう冷え込んでいる状況下において公募開始時期を慎重に見極めることを求め質疑してきた。最終的には市長の政治判断でありその決断を尊重するがこの時期に公募開始とした理由を伺う。

**答** 市長：これまでの都市ガス事業者は、地域独占事業として安定的にガスを供給することが第一に求められてきましたけれども、その後、電力・ガスの小売全面自由化や今後迎える人口減少は、エネルギー事業者の置かれている環境、これを大きく変化をもたらすものでございます。加えまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、ライフスタイルやビジネススタイルの変革、これは、これまでの想像を超えるスピードで進むものと認識をいたします。そうした環境の変化の中でも、これからのガス事業者が引き続き安全で安心を確保し、豊かな暮らしを提供し続けるためには、これまでのガス事業の枠にとらわれない、新たな事業展開が求められるものと判断をいたしまして、この時期に公募を開始したところでございます。

### 青葉まつり伝承館の整備について

**問** 「青葉まつり」と「すずめ踊り」は伊達文化の大切な観光資源であり郡市長が公約に掲げる「杜の都」の魅力向上と「伊達文化」の再興と一致するもので「伊達時代行列」「政宗公神輿渡御」の甲冑等の展示、「11基の山鉾」の輪番による展示、そして週末は「すずめ踊り定期演舞」等々、集客促進に向けた取組みとして提案してきた。青葉山公園（仮称）公園センター新築工事に合わせ青葉まつり伝承館の機能整備を求める。

**答** 文化観光局長：（仮称）公園センターは、整備基本計画において、杜の都・仙台の歴史や文化を発信する機能を備えた施設として整備することとしております。今般の新築工事におきましては、集客促進に向けた取組みとして、山鉾や七夕飾りを展示できる構造とするとともに、すずめ踊りをはじめ、伊達文化の魅力を発信・体験することもできるスペースを確保するなど、訪れた皆様へ、本市の歴史や文化を身近に感じていただけるような整備内容としていただいております。



○相談ごと・ご意見などお寄せ願います。

お名前

ご住所

電話番号

## 基本政策を取りまとめ郡市長に提言いたしました

10月19日、令和3年度予算編成及び施策に対する提言を郡市長に提出しました。我が会派「蒼雲の会」は5つの視点からなる基本政策のもと日々議会活動に取り組んでおります。現下のコロナ禍において収束の見通しが不透明な中、新年度予算編成にあたっては税収の低下やコロナ関連の新たな支出増など大変厳しい状況も想定され従来以上にメリハリのある取組みを求め提言いたしました。5つの視点【子供】子育て支援環境の充実と教育改革について13項目【福祉】市民福祉の充実と市民協働のまちづくりについて15項目【安心】安心・安全の仙台版防災対策とインフラ整備について15項目【地元】地元中小企業への支援など地域経済の活性化について14項目【市民】市民満足度の向上に向けた行財政改革について7項目、『コロナ対策』アフターコロナを見据えた消費喚起策や医療体制の整備・治療薬およびワクチンの確保など9項目、計73項目について取りまとめ提言いたしました。本市の新たな仙台市基本計画に対してもこれらを踏まえ対応してまいります。



## 江陽グランドホテル前の根上りが改修されました

これまで何度か取り上げてきた「街路樹の根上り対策」について、**昨年の予算委員会で広瀬通り江陽グランドホテル前の根上りについて改修を求めておりましたが工事が完了いたしました。**市内で改修が必要な根上りは「1100箇所」であったものの、これまで300箇所以上の改修を行ったにもかかわらず新たな危険箇所を合わせると「1200箇所」と増加しています。根上りについてはこれまで別枠での予算計上がされていないことを指摘してきた結果、新年度においては1億6000万円の別枠にて予算を確保することが出来ました。これにより広瀬通りの仙台駅前から晩翠通りにおける根上り改修対象35箇所の内、**令和2年度内に7箇所の改修が図られることとなりました。**



### 仙台市議会議員 加藤けんいち

生年月日 昭和43年12月24日

住 所 仙台市青葉区木町通2-6-48-503

“カトケン”は

**安心・安全・安定**な社会をつくります。

『**安 心**』して暮らせる都市づくり

『**安 全**』でやすらぎある住みよい都市づくり

『**安 定**』した市民生活を支える都市づくり

